

2025年度 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科
博士後期課程 入学試験問題 (冬季) フロンティアヘルスサイエンス学域 筆記
出題意図及び模範解答

問題 I

解答例

I

- ① スフィアの原理は2つの基本理念に基づいている：
 - ・ 災害や紛争の影響を受けた人びとには、尊厳ある生活を営む権利があり、従って、支援を受ける権利がある。
 - ・ 災害や紛争による苦痛を軽減するために、実行可能なあらゆる手段が尽くされなくてはならない。
- ② 生存権とは、生命が脅威にさらされている状況での生命を守る義務を伴うものである。生命を守る支援の提供を差し控えたり、妨げたりしない義務を示唆する。尊厳は身体的に健やかである以上のことを意味している。
- ③ いかなる支援も、公平性の原則に従って提供されなければならない。支援は、すなわち、必要性の程度のみに基づいて提供されなければならない。これは、いかなる人も、年齢、性別、人種、肌の色、民族、性的指向、言語、宗教、障がい、健康状態、政治やその他の見解、国籍や社会的出自などの背景によって差別されてはならないという、非差別の原則を反映している。
- ④ このような状況にある人びとを守る能力を国家が有していない状況では、国際的な支援が模索されるべきだと私たちは考えている。

出題意図

災害が多発し国際情勢も不安定な中、被災地や紛争地における人道的配慮や供給される医療は、課題が多い。国際的な団体により推進されている人道憲章を読み解くことで、医療人として、また社会人として弱者支援に携わる者の共通の信念を理解することを求めた。

採点基準 (配点 50 点)

1) ①②④は各 10 点、③は 20 点、計 50 点。

2) 各部において、

単語の意味の誤り、主述関係・修飾関係など文章構成の誤り：-2 点/箇所

理解困難な訳文、事実誤認の訳文：それぞれ-2 点

問題 II- 1 , II- 2

解答例

II- 1

- ① ただし、年齢、体力や障害、個人の目標などの要因が、達成可能な運動の量、強度、種類に影響を与える可能性がある。どのような種類や量の身体活動であっても、何もしないよりはずっと良いということを忘れないこと。
- ② エクササイズ（運動）の種類は、多くの場合 4 つの異なるカテゴリに分類される。有酸素性、無酸素性の柔軟性と可動性、バランスと調整。
- ③ 運動中に必要なエネルギーが有酸素プロセスから得られるか、無酸素プロセスから得られるかは、使用される筋線維の強度、期間、種類によって決まる。無酸素運動を行うとき、私たちの体は短期間で激しく働くため、急速にエネルギーを必要とする。このエネルギーは、私たちの体内にすでに保存されており、すぐに利用できる成分から得られる。このプロセスには酸素は必要ないが、この方法で放出できるエネルギーの量は非常に限られている。

II- 2 運動中、私たちの体は有酸素プロセスまたは無酸素プロセスを通じてエネルギーを放出する。活動の強度と継続時間によって、どのプロセスが最も多くのエネルギーを供給するかが決まる。ただし、正確なエネルギー寄与は個人差があり、トレーニング量や食事内容などの要因によって影響される可能性がある。

出題意図

医療系共通の知識である有酸素運動・無酸素運動に対する理解と、英文 Web 上の情報収集の能力があるか、かつ適切な日本語で表現できるかを確認する。

採点基準（配点 50 点）

II- 1 :

- ① 15 点 ② 10 点 ③ 15 点

注：チェック項目は和訳の正確さと完成度です。

II- 2 : 10 点